

第27週の発生動向 (2005/7/4~2005/7/10)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 手足口病は、弘前保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
3. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
4. ヘルパンギーナは、弘前保健所管内において引き続き**警報**が出されています。

第27週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	6	0.75							7	1.17	6	1.50	19	0.45	-12
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	15	1.50	2	0.22	1	0.20	8	1.33			30	0.71	5
(62) 感染性胃腸炎	15	1.88	7	0.70	7	0.78	2	0.40	3	0.50	4	1.00	38	0.90	-1
(63) 水痘	5	0.63	6	0.60	9	1.00	17	3.40	7	1.17	11	2.75	55	1.31	-43
(64) 手足口病	12	1.50	49	4.90	16	1.78	10	2.00	20	3.33	4	1.00	111	2.64	-27
(65) 伝染性紅斑	14	1.75	3	0.30	1	0.11			10	1.67	2	0.50	30	0.71	-8
(66) 突発性発しん	4	0.50	5	0.50	5	0.56	2	0.40	7	1.17	2	0.50	25	0.60	-1
(67) 百日咳															0
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	0
(69) ヘルパンギーナ	13	1.63	94	9.40	2	0.22	1	0.20	1	0.17	3	0.75	114	2.71	43
(70) 麻疹(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	4	0.40	5	0.56	2	0.40	7	1.17			20	0.48	-15
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	2	1.00					4	4.00					6	0.55	1

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科	養育
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報 は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 上十三保健所管内: 1人 (17年計 6人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 8人)
- (56) 破傷風(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 54人)

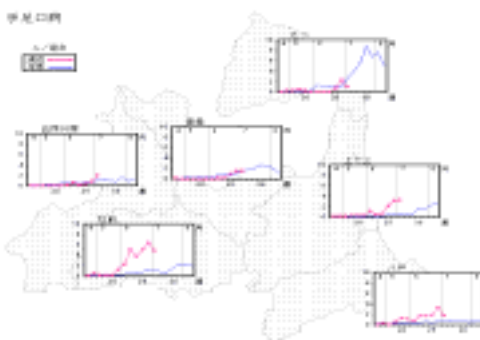
感染症の窓

手足口病 (hand, foot and mouth disease)

図1. 定点当たりの報告数(人/定点)



図2. 青森県における保健所管内の定点当たりの報告数



青森県での手足口病の定点当たりの患者数は、全国平均値をかなり上回った報告数が続いています(図1)。保健所別では、弘前保健所管内で**警報**が第23週から継続して出されています。その他、上十三保健所管内においても患者数が**増加傾向**にあり(図2)、今後の動向に注意が必要です。なお、本年は全国的にコクサッキーA16型ウイルスが多く分離されています。

予防方法としては、本疾患は糞口、飛沫、接触感染によることから、手洗いの励行や患者との接触に注意が必要です。

<参考> 国立感染症研究所感染症情報センターウイルス検出状況・集計表